

第10回 IRCA 国際フォーラム

日時: 2011年6月26日(日) 10:00 – 17:00

場所: パシフィコ横浜 会議センター

ビジネスパフォーマンスの持続と向上のための “QUALITY”の重要性

ここ数年、銀行から石油、自動車、食品に至るまで実にさまざまな産業分野において、世間の耳目を集める事件が頻発しています。これらは、経営層による品質の重要性への不理解または組織内における品質業務の作りこみの失敗を反映しています。

鍵となるマネジメントシステム規格である ISO 9001 は四半世紀にわたって存在しているにも関わらず、そのコンセプトはビジネスにおいて軽視され、有効に活用されてきていない現状があります。

2011年 IRCA 国際フォーラムでは、ISO 9001に焦点をあて、日本およびその他の国や地域でどのように使われてきたか、ISO の今後の開発計画について、そしてシステム監査への新しいアプローチについても、ご紹介致します。

われわれの資源の適切なマネジメントの戦略的重要性が増す中、間もなく発行するエネルギー・マネジメント規格の ISO50001 についてもお話しします。

プログラム

09:00 – 10:00	受付	
10:00 – 10:15	開会のご挨拶	SIMON FEARY 氏 IRCA ディレクター・CQI 総裁
10:15 – 11:00	ISO 9000 をビジネスにどう役立てるか ISO 9000 は、有効活用されれば、ビジネスや国内経済にとって極めて重要な意味をもちます。わが国の、ISO 9000 および TQM の第一人者に、日本において、この規格、そして品質概念がどのように理解され実践されているかご紹介頂き、今後のあり方についてお話し頂きます。	飯塚 悦功氏 東京大学 特任教授
11:00 – 11:45	QMS による恩恵を最大限に活用するために 組織がビジネスパフォーマンスを持続、向上させるため、いかに MS そして ISO9001 にアプローチすべきか、キーワードである Q, "Quality"への課題を扱うべきかをお話し頂きます。	DAVID HUTCHINS 氏 David Hutchins International Quality College ディレクター
11:45 – 12:30	ISO 9000 シリーズ規格の今後 ISO9000 シリーズの今後の開発について、組織のニーズを満たしたその役割と審査員や監査員への影響をお話いただけます。	NIGEL CROFT 氏 ISO TC 176/SC2 議長
12:30 – 13:30	昼食、ネットワーキング	
13:30 – 14:15	監査・審査の革命—21世紀ビジネスの要求を満たす審査・監査 リスクと態度にもとづく監査ツールの第三者認証審査、内部監査での活用をご紹介します。	IAN ROSAM 氏, High Performance Organisation 社、ディレクター
14:15 – 15:00	マネジメントシステムへの効果的なアプローチ マインドマップを使用した監査の効果的な実施と、またシステムの構築についてお話し頂きます。	羽田 卓郎氏 リコー・ヒューマン・クリエイティブ株式会社、リコー情報セキュリティ研究センター、副所長
15:00 – 15:15	休憩	
15:15 – 16:00	大災害から組織を守る BCMS をいかに構築し、運用するか 未曾有の被害を与えた東日本大震災、BCMS を構築した企業はどう立ち向かったのか？東京都中小企業 BCP 策定支援事業で35社の BCMS 構築を支援した立場からその時事業継続対応の現場で何が起きていたのか徹底解説いただけます。	副島一也氏 ニュートン・コンサルティング(株) 代表取締役社長
16:00 – 16:45	ISO 50001 と 審査員の力量 実行可能でありながらも、規格を高く維持するとはどういうことなのかをお話し頂きます。	MAX LINNEMANN 氏 NQA・環境部門部長
16:45 – 17:00	IRCAの活動最新情報と今後の計画、閉会のご挨拶	SIMON FEARY 氏 IRCA ディレクター・CQI 総裁

